

再度 河川管理者の謝罪を要求する

住民対話集会参加者 小山公久

第65回委員会への審議資料2-5

の別紙集の623 (4310-21) として

第5回 住民対話集会 意見のまとめ抜粋として

A 414-70 代替案12つについての、討論内容の
一部分を意図的に、資料として提供された事
に対して、私は、

・2007年10月30日付4で、(No. 865)、河川管理者の
責任を問う。質問状を提出し、謝罪を求めた。

66、67、68回委員会での回答身に、どうも見あたらず
見解を示さねたい。又、第2点でも要求している
通り、H16年度、6回に渡って、住民が、議論を重ねて
提出した「提案書」の中での質問に対する回答を
示さねたい。

質問しても、回答はなされず、たが聞きおくれや
を続けられるので、住民は、失望し、二度と、集まりに
参加しない。私も何回も、同じ質問を繰り返して
来むるを待たなかった。基本的な環境・生物調査の
報告書すら、いつかには要求し続けている。

おせらぬのを待っている様だ。

「提案書」の中にも、明らかにして教えてほしいと要望
されている資料が、今だに示されていないのは、
いかなる理由なのか、3日は同じ事をせよという
三顧の礼をせよという事か。